

AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。*が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平面であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
体重	1	体重 [kg] Weight [kg]	—	N1	2	体重計 Weighing scale	全身の質量	4.1.1 / 6.1.1* Body mass (weight)	5.2.1 体重	5.6.1 Body mass
高径	2	身長 Height	1	B1	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から頭頂点(正中矢状面内における頭部の最高点)までの垂直距離	4.1.2 / 6.1.2* Stature (body height)	5.2.2 身長	5.1.1 Stature
	3	頸椎高 Cervicale height	1	B8	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から頸椎点(第7頸椎棘突起の先端)までの垂直距離		5.2.4 (けいつい) (頸椎)高	5.1.5 Back neck height
	4	頸側点高 Side neck point height	2	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から頸側点(僧帽筋前縁と頸付根線の交点。僧帽筋前縁、肩の稜線、頸から肩への移行線とがほぼ一致になる所。頸付根部の前後幅の中間よりも少し前にある)までの垂直距離			
	5	肩峰高 Acromiale height	2	(B19)	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から肩峰/肩先点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)までの垂直距離	4.1.4 / 6.1.4* Shoulder height	5.2.5 肩峰高	
	6	後腋窩高 Axilla height (Posterior axilla point height)	1	B9	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から後腋窩点(後腋窩裂の下端の点)までの垂直距離			5.1.6 Chest height
	7	前腋窩高 Anterior axilla point height	1	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から前腋窩点(前腋窩裂の下端の点)までの垂直距離			
	8	乳頭高 Nipple height (male) Bust height (female)	2、3	B6/ B6-2	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から女性バスト点(バスト部の最も前方の点)、男性は乳頭点(乳頭の中心)までの垂直距離			5.1.7 Bust height
	9	UB高(女性のみ) Underbust height (female only)	3	B7-2	2	アントロポメータ Anthropometer	床面からアンダーバストレベル(乳房付根の最下点。左右の低い方)までの垂直距離			5.1.8 Under bust height
	10	最小胴囲高 Waist height at minimum waist breadth	2	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から前から見て胴の幅が最も狭いレベルまでの垂直距離			
	11	後ウエスト高(ウエストベルト) Waist belt height, posterior	1	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から後ウエスト点(ウエストベルトで決めたウエストレベルと後正中線の交点)までの垂直距離			
	12	横ウエスト高(ウエストベルト) Waist belt height, side	2	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から横ウエスト点(ウエストベルトで決めたウエストレベル上で体幹側面前後径中央の点)までの垂直距離			
	13	前ウエスト高(ウエストベルト) Waist belt height, anterior	1	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から前ウエスト点(ウエストベルトで決めたウエストレベルと前正中線の交点)までの垂直距離			
	14	腹部突出点位置高 Abdominal extension height	3	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から腹部前突(ウエストラインより下方、正中線上で、腹部が最も前方に突出した点)までの垂直距離			
	15	腸骨稜点高 Iliocristale height	2	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から腸骨稜点(腸骨稜の最も外側の点)までの垂直距離			
	16	転子外突高 Trochanterion laterale height	2	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から転子外突点(大転子の最も外側に突出した点)までの垂直距離			
	17	殿突高 Buttock height	1	—	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から殿突(殿部の最も後方に突出した点)までの垂直距離			5.1.13 Hip height

AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

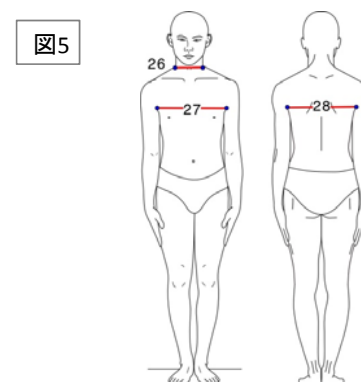
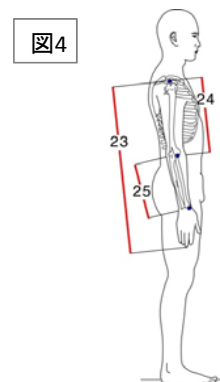
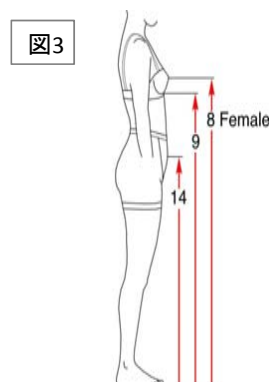
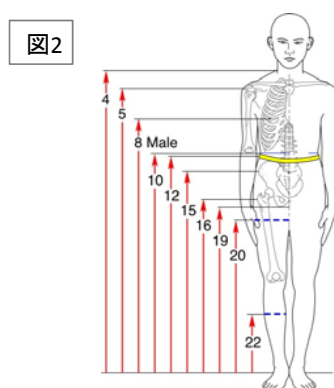
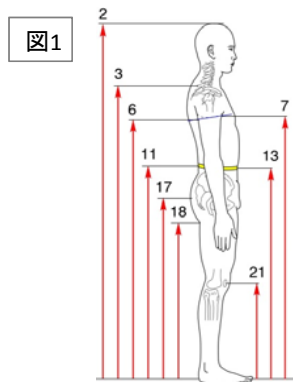
AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。*が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平面であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
	18	殿溝高 Gluteal furrow height	1	B17	1	アントロポメータ Anthropometer	床面から殿溝の最下縁までの高さ			
	19	股下高 Crotch height	2	(B18)	1	アントロポメータ Anthropometer	床面から股下のレベルまでの垂直距離。アントロポメータの横規を後方から股の間に差し込み、止まるまで静かに持ち上げる。得られた値に横規の幅を加える。	(4.1.7 / 6.1.7* Crotch height)	(5.2.15 また(股) 下高)	
	20	大腿最大囲高 Height of thigh circumference	2	-	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から大腿最大囲のレベル(殿溝より下方で大腿周長が最大になるレベル)までの垂直距離			
	21	膝蓋骨中央高 Mid-patellar height	1	B24	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から膝蓋骨中央点(膝蓋骨の中央の点)までの垂直距離			5.1.16 Knee height
	22	下腿最大囲高 Height of calf circumference	2	B26	2	アントロポメータ Anthropometer	床面から下腿の周長が最大になるレベルまでの垂直距離			
2点 間距離	23	上肢長 Upper limb length	4	(C6)	2	桿状計 LSC	肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)と指尖点(中指の先端)間の距離		5.2.18 上し(肢) 長	
	24	上腕長 Upper arm length	4	(C7)	2	桿状計 LSC	肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)と橈骨点(橈骨頭の近位端)間の距離		5.2.19 上腕長	
	25	前腕長 Forearm length	4	C8	2	桿状計 LSC	橈骨点(橈骨頭の近位端)と橈骨茎突点(橈骨茎状突起の遠位端)間の距離		5.2.20 前腕長	
	26	頸付根幅 Neck root breadth	5	D1	2	桿状計 LSC	左右の頸側点(僧帽筋前縁と頸付根線の交点。僧帽筋前縁、肩の稜線、頸から肩への移行線とがいつしよになる所。頸付根部の前後幅の中間よりもう少し前にある)間の距離			5.2.2 Neck base width
	27	前腋窩幅 Inter anterior axilla breadth	5	-	2	桿状計 LSC	左右の前腋窩点(前腋窩裂の上端)間の距離			
	28	後腋窩幅 Inter posterior axilla breadth	5	-	2	桿状計 LSC	左右の後腋窩点(後腋窩裂の上端)間の距離			



AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

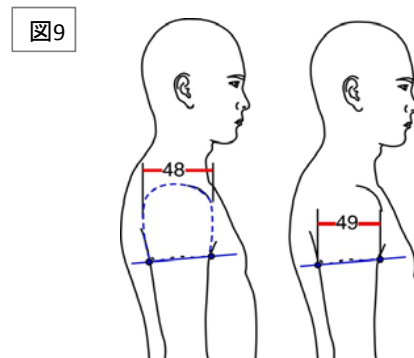
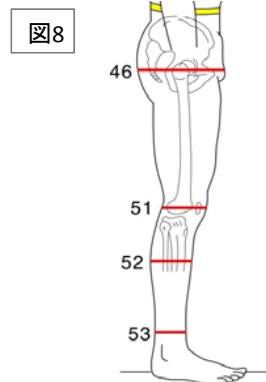
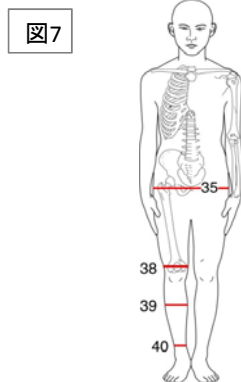
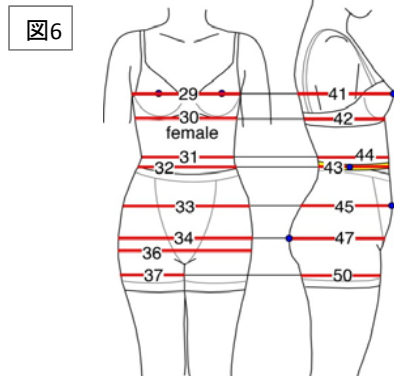
AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。*が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平囲であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
横径	29	胸部横径 Chest breadth at nipple	6	D4, D4-2	2	桿状計 LSC	女子ではバスト点(バスト部の最も前方の点)、男子では乳頭点(乳頭の中央)のレベルにおける胸部の横径			
	30	下胸部横径(女性のみ) Lower chest breadth (at underbust) (female only)	6	D5-2	2	桿状計 LSC	アンダーバストのレベル(乳房付根の最下点。左右の低い方)における胸部の横径			
	31	最小胴囲幅 Waist breadth, minimum	6	D8	1	桿状計 LSC	前から見て胴の幅が最も狭いレベルにおける胴の横径			
	32	横ウエスト幅 Waist breadth (waist belt)	6	-	2	桿状計 LSC	横ウエスト点(ウエストベルトで決めたウエストレベル上で、体幹側面前後径中央の点)のレベルにおける胴の横径			
	33	腹部突出点位横径 Abdominal extension breadth	6	-	2	桿状計 LSC	腹部前突(ウエストラインより下方、正中線上で、腹部が最も前方に突出した点)のレベルにおける胴の横径			
	34	臀突位横径 Hip breadth at buttock protrusion	6	-	2	桿状計 LSC	殿突(殿部が最も後方に突出した点)のレベルにおける腰部の横径			
	35	大転子間幅 Hip breadth at trochanterion	7	D10	2	桿状計 LSC	転子外突(大腿骨大転子の最外側突出点)のレベルにおける腰部の横径。			
	36	殿幅 Hip breadth, maximum	6	D6	1	桿状計 LSC	腰のあたりにおける最大横径。レベルが大腿部にあたることもある	4.1.12 / 6.1.12* Hip breadth, standing	5.2.36 でん(臀)幅	5.2.1 Hip breadth
	37	大腿囲位置横径 Thigh breadth	6	-	2	桿状計 LSC	大腿最大囲を測ったレベルにおける大腿の横径			
	38	膝幅 Knee breadth	7	D16	2	桿状計 LSC	膝蓋中央のレベルにおける膝の横径。			
	39	下腿最大幅 Maximum lower leg breadth	7	D17	2	桿状計 LSC	下腿最大囲を測ったレベルにおける下腿の横径。			
	40	下腿最小幅 Minimum lower leg breadth	7	D18	2	桿状計 LSC	下腿最小囲を測ったレベルにおける下腿の横径。			



AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。*が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平囲であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
厚径	41	胸部厚径 Chest depth, nipple level	6	E2, E2-2	2	桿状計 LSC	女子ではバスト点(バスト部の最も前方の点)、男子では乳頭点(乳頭の中央)のレベルにおける、胸部の最大前後径	4.2.16 / 6.2.15* Thorax depth at the nipple	5.2.39 乳頭位胸部厚径	5.2.6 Bust depth
	42	UB位置厚径(女性のみ) Chest depth, underbust level (female only)	6	-	2	桿状計 LSC	アンダーバストのレベル(乳房付根の最下点。左右の低い方)における胸部の最大前後径			
	43	横ウエスト厚 Waist depth (waist belt)	6	-	2	桿状計 LSC	横ウエスト点(ウエストベルトで決めたウエストレベル上で、体幹側面前後径中央の点)のレベルにおける胴の横径			
	44	胴部厚径 Waist depth	6	E3	2	桿状計 LSC	前から見て胴の幅が最も狭いレベルにおける胴の前後径			
	45	腹部厚径(最前方突出位) Abdominal extension depth	6	E5	2	桿状計 LSC	腹部前突(ウエストラインより下方、正中線上で、腹部が最も前方に突出した点)のレベルにおける胴の前後径			
	46	殿部厚径(転子外突点位) Buttock depth at trochanterion laterale	8	-	2	桿状計 LSC	転子外突(大腿骨大転子の最外側突出点)のレベルにおける腰部の前後径			
	47	殿部厚径(殿突位) Hip depth	6	E6	2	桿状計 LSC	殿突(殿部が最も後方に突出した点)のレベルにおける腰部の前後径			
	48	前後腋窩厚 (腕付根線の最大前後径) Scye depth	9	E7	2	桿状計 LSC	腕付根線の最大前後径			
	49	腕付け根の厚さ(前腋窩のレベルにおける水平前後径) Scye depth at anterior axilla point	9	-	2	桿状計 LSC	前腋窩点(前腋窩裂の上端)のレベルにおける腕付根の前後径			
	50	大腿最大囲位置厚径 Thigh depth	6	-	2	桿状計 LSC	大腿最大囲を測ったレベルにおける大腿の前後径			
	51	膝蓋中央点位置厚径 Knee depth	8	E9	2	桿状計 LSC	膝蓋中央のレベルにおける膝の前後径			
	52	下腿最大囲位置厚径 Maximum lower leg depth	8	E10	2	桿状計 LSC	下腿最大囲を測ったレベルにおける下腿の前後径			
	53	下腿最小囲位置厚径 Minimum lower leg depth	8	E11	2	桿状計 LSC	下腿最小囲を測ったレベルにおける下腿の前後径			

AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。*が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平囲であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
身長	54	頸付根囲 Neckbase circumference	10	F2	2	巻尺 Tape measure	頸椎点(第7頸椎棘突起の先端)と頸窩点(左右の鎖骨の上縁を結ぶ線と前正中線の交点)をとおり、頸の付根にそった周長			5.3.3 Neck base girth
	55	上部胸囲(チェスト) Axillary chest circumference	10	F8	2	巻尺 Tape measure	左右の前後腋窩点(腋窩裂の上端)のうち、最も高さの低い点のレベルにおける水平周長			5.3.6 Chest girth (at axilla)
	56	乳頭位胸囲(バスト) Chest circumference	10,1 1	F5, F5- 2	2	巻尺 Tape measure	女子ではバスト点(バスト部の最も前方の点)、男子では乳頭点(乳頭の中央)をとおる水平周長	4.4.9 / 6.4.10* Chest	5.2.43 乳頭位胸 囲	5.3.4 Bust girth
	57	下部胸囲(アンダーバスト) (女性のみ) Underbust circumference (females only)	11	F7-2	2	巻尺 Tape measure	アンダーバストのレベル(乳房付根の最下点。左右の低い方)における水平周長			5.3.8 Under bust girth
	58	自然なウエスト(ウエストベルト使用) Waist circumference (natural)	11	-	2	巻尺 Tape measure	自分でズボン/スカートのベルトが落ち着く位置に、ウエストベルトをしめる。この状態で、前正中、後正中、左右体幹前後径中央に印をつける。これらの点をとおる周長。必ずしも水平ではない。			
	59	最小胴囲(最小幅位) Minimum abdominal circumference	11	F11	2	巻尺 Tape measure	正面から見て、胴の幅が最も狭いレベルにおける水平周長			
	60	胴囲(寛上最小囲) Waist circumference	12	F10	2	巻尺 Tape measure		4.4.10 / 6.4.11* Waist circumference	5.2.44 胴囲	5.3.10 Waist girth
	61	腹部突出点腹囲 Abdominal extension circumference	11	F13	2	巻尺 Tape measure	腹部前突(ウエストラインより下方、正中線上で、腹部が最も前方に突出した点)のレベルにおける水平周長			
	62	殿囲 Hip circumference	11	F14	2	巻尺 Tape measure	殿突(殿部の最も後方に突出した点)のレベルにおける水平周長			5.3.13 Hip girth

図10

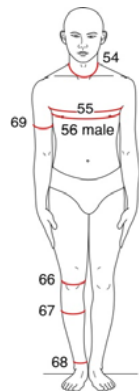


図11

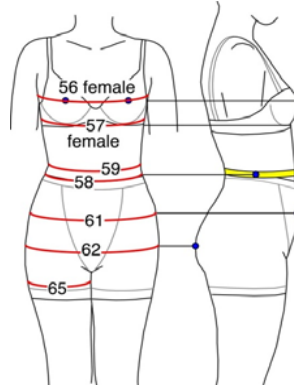


図12

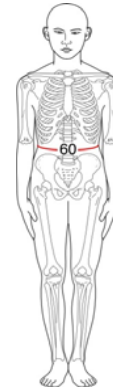
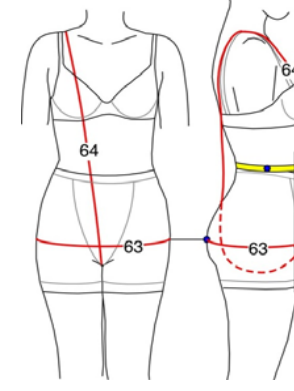


図13



AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。* が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平囲であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
	63	ヒップ囲 Maximum hip girth (with plastic sheet)	13	-	2	巻尺、セルロイド板 Tape measure, Plastic sheet	セルロイド板を、腹部前突の位置に垂直に当てる。この状態で、殿突(殿部の最も後方に突出した点)のレベルにおける水平周長			
	64	体幹縦囲 Vertical trunk circumference	13	F22	2	巻尺 Tape measure	肩峰点と頸側点の midpoint と股下をとおり、体幹の周長。前はBPまで、後ろは肩甲骨のふくらみまでは、体幹にそわせる。			
	65	大腿囲 Maximum thigh circumference	11	F16	1	巻尺 Tape measure	殿溝より下方における大腿の最大周長	4.4.12 / 6.4.13* Thigh circumference	5.2.48 大たい(腿)囲	5.3.20 Thigh girth
	66	膝囲 Knee circumference	10	F19	2	巻尺 Tape measure	膝蓋骨中央をとおり膝の水平周長			5.3.22 Knee girth
	67	下腿囲 Calf circumference	10	F20	1	巻尺 Tape measure	下腿の最大水平周長	4.4.13 / 6.4.14* Calf	5.2.49 下たい(腿)最大囲	5.3.24 Calf girth
	68	下腿最小囲 Minimum leg circumference	10	F21	1	巻尺 Tape measure	下腿の最小水平周長			5.3.25 Minimum leg girth
	69	上腕囲 Maximum arm circumference	10	-	1	巻尺 Tape measure	上腕の最大周長。腕をやや外転させ、上腕の軸に直交するように測る			
	70	腕付根囲(肘屈曲) Armscye circumference, elbow flexed	14	-	2	巻尺 Tape measure	姿勢: 正立位ではない。立位で上腕をやや外転させ、肘を曲げて手首を腰に当てる。前後腋窩点(前後腋窩裂の上端)、肩峰点をとおり腕付根の周長。腕をやや外転させる			
体表長	71	肘丈(肘屈曲) Shoulder to elbow, elbow flexed	14	-	2	巻尺 Tape measure	姿勢: 正立位ではない。立位で上腕をやや外転させ、肘を曲げて手首を腰に当てる。肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)から肘頭までの体表長			5.4.14 Upper arm length (shoulder to elbow, elbow bent)
	72	袖丈(肘屈曲) Posterior arm length, elbow flexed	14	-	2	巻尺 Tape measure	姿勢: 正立位ではない。立位で上腕をやや外転させ、肘を曲げて手首を腰に当てる。肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)から肘頭を通り、尺骨茎状突起のふくらみの中心までの体表長			
	73	上腕の長さ(肩峰-肘頭) Shoulder to elbow	16	-	2	巻尺 Tape measure	肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)から肘頭までの体表長			
	74	腕の長さ(肩峰-肘頭-尺骨茎状突起) Posterior arm length (acromion-elbow-wrist)	16	-	2	巻尺 Tape measure	肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)から肘頭を通り、尺骨茎状突起のふくらみの中心までの体表長			
	75	股上前後長(ウエストベルト) Total crotch length (waist belt)	15	-	2	巻尺 Tape measure	前W点から股下を通して後W点までの体表長			5.4.18 Total crotch length 注1

AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。*が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平面であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
	76	背肩幅 Biacromial arc	17	G2	2	巻尺 Tape measure	左右の肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)間の体表長			5.4.2 Back shoulder width
	77	背幅 Interscye	17	G1	2	巻尺 Tape measure	肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)と後腋窩点(後腋窩裂の上端)の間にマークをつける。左右のマーク間の体表長			5.4.4 Across back width
	78	後腋窩点間長 Inter posterior axilla point	17	-	2	巻尺 Tape measure	左右の後腋窩点(後腋窩裂の上端)の間の体表長			
	79	胸幅 Anterior chest arc	18	G4	2	巻尺 Tape measure	肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)と前腋窩点(前腋窩裂の上端)の間にマークをつける。左右のマーク間の体表長			5.4.7 Across front width
	80	前腋窩点間長 Inter anterior axilla point	18	-	2	巻尺 Tape measure	左右の前腋窩点(前腋窩裂の上端)の間の体表長			
	81	肩幅 Side neck point - shoulder point	17	-	1	巻尺 Tape measure	頸側点(僧帽筋前縁と頸付根線の交点。僧帽筋前縁、肩の稜線、頸から肩への移行線とが一致になる所。頸付根部の前後幅の中間よりも少し前にある)から肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)までの体表長			5.4.1 Shoulder length
	82	腕付根の深さ(頸椎-後腋窩) Cervicale to axilla vertical length	19	-	2	巻尺 Tape measure	後腋窩点(後腋窩裂の上端)をとる水平線をひく。頸椎点(第7頸椎棘突起の先端)からこの線までの、後正中線にそった体表長			5.4.6 Scye depth
	83	背丈(ウエストベルト) Cervicale to waist belt	19	-	2	巻尺 Tape measure	頸椎点(第7頸椎棘突起の先端)から後ウエスト点(ウエストベルトと後正中線の交点)までの後正中線にそった体表長			5.4.5 Back neck point to waist 注1

図14

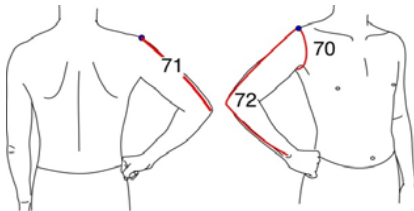


図15

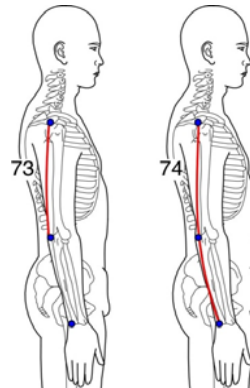


図16



図17

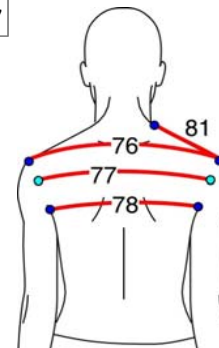
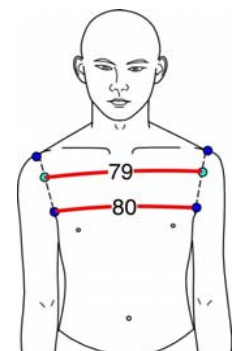


図18



AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。*が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平面であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
84		総丈(セルロイド使用) Cervicale to floor, with plastic sheet	20	-	2	巻尺 Tape measure	頸椎点(第7頸椎棘突起の先端)ウエストライン(ウエストベルトの幅の中央)、ヒップラインをへて床面までの長さ。ヒップラインまでは体表にそわせ、ここからは垂直に床面まで測る。			
85		後丈 (頸側点-肩甲骨-ウエストベルト) Cervicale to waist belt	19	-	2	巻尺 Tape measure	頸側点(僧帽筋前縁と頸付根線の交点。僧帽筋前縁、肩の稜線、頸から肩への移行線とがいっしょになる所。頸付根部の前後幅の中間よりもう少し前にある)から肩甲骨をとり、その真下のウエストライン(ウエストベルトの幅の中央)までの長さ			
86		頸椎・頸付根点・バスト Cervicale to bust	21	G11	2	巻尺 Tape measure	頸椎点(第7頸椎棘突起の先端)から頸側点とおってBPまでの長さ			5.4.12 Back neck point to bust point
87		頸椎からの前丈(ウエストベルト) Cervicale to waist belt	21	-	2	巻尺 Tape measure	頸椎点(第7頸椎棘突起の先端)から頸側点とおってBPまでを測り、ここからウエストベルトまではまっすぐ(体表にそわせずに)測る			5.4.13 Back neck pint to waist level 注1
88		頸側・乳頭点距離 Side neck point-nipple	21	-	2	巻尺 Tape measure	頸側点(僧帽筋前縁と頸付根線の交点。僧帽筋前縁、肩の稜線、頸から肩への移行線とがいっしょになる所。頸付根部の前後幅の中間よりもう少し前にある)からBPまでの体表長			5.4.10 Side neck point to bust point
89		前丈(ウエストベルト) Side neck point to waist belt	21	-	2	巻尺 Tape measure	頸側点(僧帽筋前縁と頸付根線の交点。僧帽筋前縁、肩の稜線、頸から肩への移行線とがいっしょになる所。頸付根部の前後幅の中間よりもう少し前にある)からBPをとり、その真下のウエストライン(ウエストベルトの幅の中央)までの長さ			5.4.11 Side neck point to waist level 注1

図19

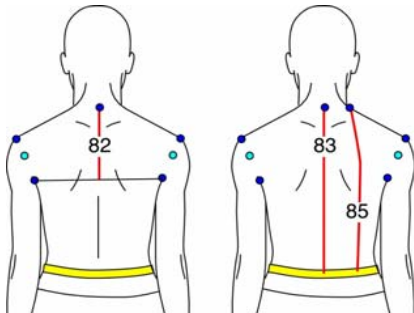


図20

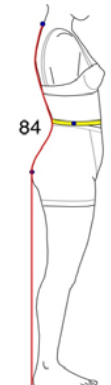


図21

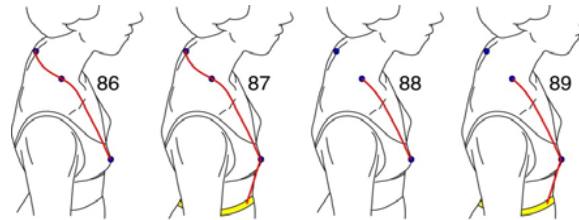
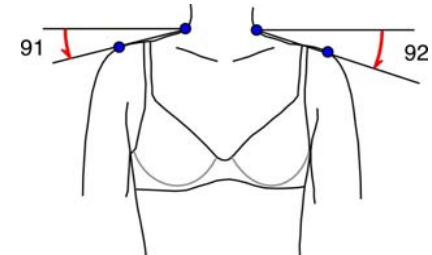


図22



AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 寸法項目定義

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003: Definitions of Measurement

■単位は特記がない限りmm。 ■LSC: Large sliding caliper。 ■姿勢は「定義」欄に特記がない限り正立位。 ■項目IDは「AIST人体寸法DB1991-92」の項目ID。

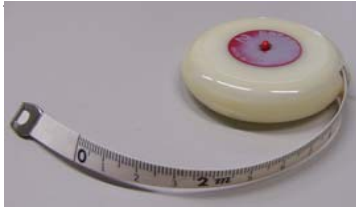
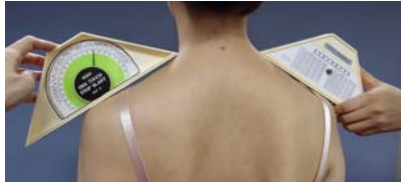
■ISO 7250の欄は、ISO 7250:1996の項目番号を示す。*が付いているものはISO 7250-1:2017の項目番号である。

■ISO8559-1欄の注1: ウエストは第10肋骨下縁と腸骨稜上縁の中間レベルの水平面であり、この計測でのウエスト点の定義とは異なる。

		項目名 [単位] Measurement item	図 No.	項目 ID	計測 者	計測器	定義	ISO 7250 *ISO 7250-1:2017	JIS Z 8500	ISO 8559-1:2018 注1
角度	90	肩傾斜: 右 [度] Shoulder slope, right [°]	22	-	2	肩傾斜角度計 Inclinometer	肩の傾斜角度。頸側点(僧帽筋前縁と頸付根線の交点。僧帽筋前縁、肩の稜線、頸から肩への移行線とがいつしよになる所。頸付根部の前後幅の中間よりも少し前にある)と肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)を結ぶ線上に、肩傾斜計をのせて測る			5.6.2 Shoulder slope
	91	肩傾斜: 左 [度] Shoulder slope, left [°]	22	-	2	肩傾斜角度計 Inclinometer	肩の傾斜角度。頸側点(僧帽筋前縁と頸付根線の交点。僧帽筋前縁、肩の稜線、頸から肩への移行線とがいつしよになる所。頸付根部の前後幅の中間よりも少し前にある)と肩峰点(肩峰の外側縁上で、肩部分の前後径の中央の点)を結ぶ線上に、肩傾斜計をのせて測る			5.6.2 Shoulder slope

AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 計測器具

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003 : Measuring Instruments

名称	写真	名称	写真
アントロポメータ Anthropometer		桿状計 Large sliding caliper	
巻尺 Tape measure		肩傾斜角度計 Inclinometer	

AIST/HQL人体寸法・形状データベース2003 備考

AIST/HQL 3D Anthropometric Database 2003 : Memo

- 計測の目的がオンデマンドアパレル製造のための形状データからの採寸を念頭においたものであったため、寸法項目はアパレルのための項目に偏っています。
- すべて立位姿勢で計測しました。計測法はすべて伝統的な方法、いわゆる「マルチン」式の計測法によります。
- 計測は2名の計測者で行われました。計測者1はランドマーク付け担当者で、マークを付ける際に寸法の一部を計測しました。計測者2が大部分の寸法計測を担当しています。
- なお、以下の点で今回の計測方法は「AIST人体寸法データベース1991-92」と異なっています。

(1)肩峰点*の定義

AIST人体寸法データベース1991-92では「肩甲骨肩峰外側縁のうち、最も外側の点」を用いましたが、本データベースでは肩峰点*(肩甲骨肩峰外側縁上で、肩部分の前後径のほぼ中央にある点)を用いています。両者の定義は厳密に言えば異なりますが、ほぼ同等の寸法(肩峰高、肩峰幅など)が得られます。本データベースで肩峰点*を採用したのは、計測目的がアパレルを中心においたためと、相同モデル作成にあたり、肩部の形状をきれいに表現するためです。

(2)股下高の測り方

アントロポメータの横規を股のあいだに差し込み、股下に当るまで持ち上げて計測しました(ISO 7250-2準拠)。なお、AIST人体寸法データベース1991-92では股のあいだにセルロイド板を差し込み、股下に当るまで持ち上げ、この上縁までの高さを計測しました。